

# 八千代市消費生活センター

## 令和5年度9月新規受付相談状況

	当 月 分	前 月 分	年 度 累 計
苦 情	77件	96件	528件
問い合わせ	11件	9件	80件
要 望	0件	0件	0件
計	88件	105件	608件

### 相談の傾向と被害に遭わないための注意点

9月の相談件数は88件でした。年齢別で見ると65歳以上の高齢者からの相談が41件と約半数にのぼり、その内14件は80歳以上でした。本市の消費生活相談利用者は普段から年齢層が高く、特に一人暮らしの高齢者からの相談が多い傾向があります。被害防止のためにも地域包括支援センターや警察、町内会などとの連携が望まれます。取引形態別には通信販売が41件と依然として最も多く、その半数が高齢者でした。これまでのサプリメントに関する相談が減り、育毛剤やシャンプーなど頭髮関係の相談が増加しました。いずれも、定期購入であることを知らず、規約や解約条件を読まずに購入ボタンを押したという相談者が目立ちました。高齢になるとスマホ上の小さな文字を見ることが辛くなり、つい読まずに購入してしまいがちですが、規約に同意するボタンを押してしまった以上は読んでいないという主張は認められません。規約が読めないのであれば購入を控えましょう。また、通信販売に関する相談で、商品未着や不良品が送られてきたとの相談では、いずれもSNS上の商品紹介から業者のホームページに進み購入に至っています。業者のホームページに連絡先電話番号がない、あっても個人の携帯電話番号で支払い方法が個人の銀行口座への振込みのみというパターンがほとんどです。購入時にはまず電話番号と支払方法をチェックするよ

うにしましょう。